東京小間物問屋組合
化粧品商報改題
日本粧業
週刊・毎十月廿日発行
通巻七十九号
発行所 東京 日本粧業社
東京中央区日本橋馬喰町3-8
電話茅場町(66)6941-3
定価一部分 三〇円 郵税
前金年分 七七七七
振替口座東京一七七七七
福岡印刷株式会社 日本印刷株式会社 日本印刷部 印刷部印行

取引高税は撤廃へ
物品税も若干下るか

去月二十次日ドイツ側の大蔵大臣表明されたことは新聞紙上の報道の通りである。その内容は概要次の通りである。その中の要旨は第一に取引高税の撤廃、第二に物品税の若干の引下げ、第三に戦時利潤税の廃止、第四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第七十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第七十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第七十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第七十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第七十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第七十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第七十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第七十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第七十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第七十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第八十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第八十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第八十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第八十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第八十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第八十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第八十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第八十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第八十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第八十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第九十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第九十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第九十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第九十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第九十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第九十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第九十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第九十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第九十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第九十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百二十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百二十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百二十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百二十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百二十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百二十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百二十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百二十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百二十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百二十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百三十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百三十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百三十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百三十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百三十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百三十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百三十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百三十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百三十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百三十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百四十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百四十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百四十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百四十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百四十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百四十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百四十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百四十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百四十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百四十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百五十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百五十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百五十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百五十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百五十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百五十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百五十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百五十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百五十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百五十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百六十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百六十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百六十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百六十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百六十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百六十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百六十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百六十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百六十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百六十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百七十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百七十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百七十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百七十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百七十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百七十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百七十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百七十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百七十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百七十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百八十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百八十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百八十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百八十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百八十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百八十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百八十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百八十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百八十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百八十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百九十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百九十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百九十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百九十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百九十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百九十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百九十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百九十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百九十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第百九十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百二十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百二十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百二十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百二十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百二十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百二十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百二十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百二十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百二十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百二十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百三十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百三十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百三十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百三十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百三十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百三十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百三十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百三十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百三十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百三十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百四十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百四十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百四十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百四十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百四十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百四十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百四十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百四十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百四十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百四十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百五十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百五十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百五十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百五十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百五十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百五十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百五十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百五十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百五十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百五十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百六十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百六十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百六十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百六十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百六十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百六十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百六十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百六十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百六十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百六十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百七十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百七十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百七十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百七十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百七十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百七十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百七十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百七十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百七十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百七十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百八十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百八十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百八十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百八十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百八十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百八十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百八十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百八十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百八十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百八十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百九十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百九十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百九十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百九十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百九十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百九十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百九十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百九十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百九十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第二百九十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百二十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百二十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百二十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百二十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百二十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百二十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百二十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百二十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百二十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百二十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百三十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百三十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百三十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百三十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百三十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百三十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百三十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百三十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百三十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百三十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百四十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百四十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百四十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百四十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百四十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百四十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百四十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百四十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百四十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百四十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百五十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百五十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百五十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百五十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百五十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百五十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百五十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百五十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百五十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百五十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百六十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百六十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百六十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百六十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百六十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百六十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百六十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百六十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百六十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百六十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百七十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百七十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百七十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百七十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百七十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百七十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百七十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百七十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百七十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百七十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百八十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百八十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百八十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百八十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百八十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百八十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百八十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百八十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百八十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百八十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百九十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百九十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百九十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百九十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百九十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百九十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百九十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百九十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百九十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第三百九十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百二十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百二十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百二十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百二十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百二十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百二十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百二十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百二十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百二十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百二十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百三十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百三十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百三十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百三十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百三十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百三十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百三十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百三十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百三十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百三十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百四十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百四十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百四十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百四十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百四十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百四十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百四十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百四十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百四十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百四十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百五十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百五十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百五十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百五十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百五十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百五十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百五十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百五十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百五十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百五十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百六十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百六十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百六十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百六十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百六十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百六十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百六十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百六十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百六十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百六十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百七十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百七十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百七十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百七十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百七十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百七十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百七十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百七十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百七十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百七十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百八十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百八十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百八十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百八十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百八十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百八十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百八十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百八十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百八十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百八十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百九十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百九十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百九十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百九十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百九十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百九十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百九十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百九十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百九十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第四百九十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百二十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百二十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百二十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百二十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百二十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百二十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百二十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百二十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百二十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百二十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百三十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百三十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百三十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百三十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百三十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百三十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百三十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百三十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百三十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百三十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百四十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百四十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百四十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百四十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百四十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百四十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百四十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百四十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百四十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百四十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百五十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百五十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百五十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百五十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百五十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百五十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百五十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百五十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百五十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百五十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百六十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百六十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百六十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百六十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百六十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百六十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百六十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百六十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百六十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百六十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百七十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百七十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百七十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百七十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百七十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百七十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百七十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百七十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百七十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百七十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百八十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百八十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百八十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百八十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百八十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百八十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百八十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百八十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百八十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百八十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百九十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百九十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百九十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百九十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百九十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百九十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百九十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百九十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百九十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第五百九十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百二十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百二十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百二十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百二十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百二十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百二十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百二十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百二十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百二十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百二十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百三十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百三十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百三十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百三十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百三十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百三十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百三十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百三十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百三十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百三十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百四十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百四十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百四十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百四十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百四十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百四十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百四十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百四十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百四十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百四十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百五十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百五十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百五十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百五十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百五十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百五十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百五十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百五十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百五十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百五十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百六十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百六十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百六十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百六十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百六十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百六十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百六十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百六十七に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百六十八に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百六十九に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百七十に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百七十一に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百七十二に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百七十三に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百七十四に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百七十五に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百七十六に戦時利潤の一部の国庫への納付、第六百

遂いに二派に分立

サアどう結着をつけるか

石鹸卸組合問題

東京都石鹸卸登録店の新團體結成は現石鹸卸協組系の木下泰三氏を中心とする新協同組合も兩團體併立の形勢となつた、その間丸山松治、川野喜四郎、大山勇次郎の諸氏は飽迄も兩派の結成となり、ここにはしなくこの問題は解決の方向に向つてゐるとの事だが、メーカー方面の態度は、メーカー方面の態度は、どちらの方面にも、どちらの方面にも、どちらの方面にも

大荒れの設立準備會

小網町系 **強引に押切ッたが**

一万人網町系を出ぬとする本 川原重四郎氏から 下記二氏の一部では二月二日の本 なの組織 本機構の組織は次の通りである 一、顧問 本機構の組織は次の通りである 一、顧問 顧問 顧問 組織 組織 組織

東北業界の新地図

宮城縣販賣界

高遠・近八を繼ぐものなし

加藤特派員第二信

宮城縣は東北地方の最も中央に位置し、最も北部地方の中心地として仙台市（人口四萬五千）の西方に石巻市（人口三千一百）、塩竈市（人口五萬三千一百）、名取郡（人口三萬）の三市と、北方に古川（人口五萬）の中心都市として、最も重要な地位を占めている。

つものどもの夢の跡

仙臺界

仙臺市の業界は、スタ、マユラ等を無して活潑に動き、也に一番手の門脇榮夫氏、また武藤商店から出て、いわれて榮夫氏、また武藤商店から出て、いわれて榮夫氏、また武藤商店から出て、手腕の鮮やかな、商魂の逞しさは、殆ども、也に一番手の石本商店仙台支店は其支部を仙台に置き、東北地方の中心地として、また、仙台市の大須賀商店、また、大須賀商店、また、大須賀商店、また、

類似商標も使用禁止

場合によっては没收の憂目

外國商標商號令 政府擁護に

国内における外國の著名な商標や商號の使用が最近やかましく採上げられてこれについてさきごろ極東委員會から総司令部を通じて日本政府に覚書が發せられたが、特許廳では類似商標、商號などは登録の際審査吟味して認めないことにし登録中のものについては審判による方針のようである

今回の覚書は國際商標法の規定などなひつかよるものの出ずぎ間にたかわりなく外國の著名、そうでこと公開行に多大の女性問題が起こ強要する。無効あるものいうもとし組織、禁止するとと、わが國にとっ主張して出願之義、先使用権ないなお変更国に関係なっ国これらの商標とありこれらの出願者は不利な結果となっ国これらの商標とありこれらの出願者は不利な結果となっ国これらの商標とありこれらの出願者は不利な結果とな

金づまりを切り抜ける

何か善い策はないか　化粧品小賣店の場合

右を向いても左を向いても金詰りの世の中である。小賣店で仕入れた商品が売れなくなり、問題の解決は、何か善い策はないかと、毎日の様に考えているのも、中の原因の一つである。そこで問題が出る訳である。そこで問題が出る訳は、何かの為に原因があるのであるが、小賣店の経営方針が、消費者たちと、まゆ、まゆ、ばかりの、ことにはばかりのないことは、はばかりのないことは、はばかりのないことは、は

經營時評　さのやの經營分析【3】

倉本長治

店員一人當り客數

この「さのや」の客数歩調を持つているようか、私は店員一人當りの客數の問題を取上げたい。

さて、アメリカの百貨店統計によると、一人當りの客數は年間一四〇〇人であつて（一九四八年度）、この数値は戦前の百貨店の一人當り客數（戦前の日本の百貨店の統計）の約二倍である。

この数字は、一般的に言えば、一人當りの客數が多いほど、能率を発揮するのである。

アメリカ百貨店の化粧品賣場の能率は、一人當り一日一〇〇人の客を扱つている

會津若松に花王の僞せ物

中味は磨砂で業者は泣寝入り

化粧品の偽せ物も最近の驚異的現象の一種で、特に高級品に対する需要は始めとその欲望相当に高まるに反して、ともかくも戦争中の物資不足の時代に比べて、今度は花王シャンプーの偽物はいかに世間に横行しているかを、その間の事情とともに、特要の点に絞って、その実態を紹介しよう。

それによると、昭和二十二年の秋頃、東京都内の各化粧品卸売問屋に、花王シャンプーの偽物が出回り、その出所は、福島県会津若松市の化粧品問屋であるとの情報が、花王の方へ入ってきた。

そこで、花王の方では、早速、会津若松市の各化粧品問屋に対して、その出所を追及すべく、その筋に依頼するとともに、自分自身で、会津若松市に出かけ、問題の問屋を探ねて、その出所を追及することになった。

私は、二月早々、会津若松へ入る。冬雪の深い頃、会津の西部を、会津若松市へ出かけて行くのは、なかなかに、骨が折れる。

その翌日、本舗の中山社長のところを訪ねた。

「結構ですよ、どうぞ、お上がりなさいませ。」と、中山さんは、うちとけた調子で、「ちょうど、ちょうどいまの時期、ゆっくりしましょうよ。」

中山さんは、「ちょうどいまの時期、ゆっくりしましょうよ。」

「結構ですよ、どうぞ、お上がりなさいませ

これからの裝身具

ニュース・カメラも出動して

劃期的な大座談會開く

東京裝身具組合主催の座談會は去る廿一日午後五時から青山會館において開かれたが、各組合員にとり多方面の問題を討議し、戦後、味なかたちの新しい裝身具の出現を期待する大会となるものがあるべき筈であるが、なおその具体的な問題は、東京裝身具組合理事長佐藤氏を中心として、東京裝身具商業者会、東京裝身具商業者会代表として、東京裝身具商業者会、本會の俱いて、川又商事株式会社、日本繊維新聞、東京裝身具商業者会代表として、商業者、製造者、問題、問題、問題

秋季東京見本市

福引内容決定さる

秋季東京見本市の景品福引内容の通り取決められ、商品買上高五万三千円後三時間高千両（化粧品三千円）から、日本新興産業会社の毎日曜券一枚、千円（化粧品）、日本新興産業会社の毎日曜券一枚、千円（化粧品）、日本産業会社の毎日曜券一枚、千円（化粧品）、日本産業会社の毎日曜券一枚、千円（化粧品）、日本

東京小間物化粧品商報改題
日本粧業
週刊・毎十日刊行
頒価八十円
発行所　財団法人　日本粧業会
東京中央区日本橋馬喰町一ノ一
電話茅場町（66）6941～3
定価一部分　三百円
振替口座東京六七七七七番
東京信用金庫　日本興業銀行　日本電信電話公社　第百信用金庫　第百銀行

物品税に曙光見ゆ

五割、三割は据え置きとならん

去る八月二十六日シャウプ勧告の大綱發表によつて化粧品物品税率の若干の引下げが期待されるとは前號に述べたとおりであるが、その後確かなる筋より入手した情報によれば、化粧品に対する税制改革の意見書が發表される段取となつているが、右意見書中には物品税率化粧品も言及されているものの如く、未だ詳細は不明であるが、高率課税品中には引下げを勧告している模様で、化粧品の八割課税品目は五割の線に引下げの公算が大と見られるに到つた。なお現行の五割、三割の品目については「税額のワクが本年度と同額の税収をあげる程度」と勧告されている建前から見て悉ら引下げへの期待は薄い、なお假りに引下げが實現するとしても本年度は望みなく明一二十五年度以降と見られている。

香りよい地、外出がまた楽しくなりました。
さっぱりとしてのびのびとした練上がりです。
マスターパーフェクトクリーム

第三・四半期から遂に豫約制に

一期の石鹸配給

ヒモ付きにきまる

第一・四半期の家庭用石鹸から原料油脂配給方法は未だ確定に至らず、目下その方法に関する研究が進められている模様であるが、原料油脂の配給は、第一・四半期の家庭用石鹸の配給に関連して、方式は原則として豫約制とする方針で、第三・四半期から豫約制を採用する方針である。

第三・四半期　豫約・還流併用案は一回限り適用

石鹸卸組合問題

情勢急變で微妙

今のままでは中途半端

東京青年商工會議所誕生

初代理事長に三輪善雄氏就任

理事長就任に當り

明春マニラで世界會議

全米青年商業會議所からメッセージ來る

第二・四半期の石鹸原料

十日迄に豫約券交付

クリーム原料に新ベース

全国化粧品製造業者名鑑

これまでの色白法に成功しなかつた方におすすめ
色白専用モンココクリーム
一瓶定価　一〇〇円
容量　四三グラム

秋のシーズンにさきがけて贈る
丸見屋の新製品！
ミツワ油
幽雅な香り・明るい衣裳の良質頭髪油
小型壜入　〒100.

高貴な香り
八重椿香油
近代美髪料
ブリアンチン
ヤエツバキ
株式會社八重椿

東北七縣業界大會

主催　財團法人 日本粧業會

参加御申込は直接財團へ

今回の東北粧業大會は東西有力本舗問屋約五十社位上の参加が見込まれ、大會當日は製販一堂に相會するの感深甚なるものがあります。

此の機會に現地販賣界の各位に奮つて本大會に御出席願りたく特に御願い申上げます。なお諸佛の都合があり御予定の向きは直接本社まで御出席願います

財團法人 日本粧業會

出席者　東北六縣並に新潟縣下の有力問屋並に小賣店、東西有力本舗問屋

日時　第一日　九月二十日　午前九時開會

第二日　午前九時開會

場所　仙台市東二番町　ブラザー軒

大會次第

午前九時分　第一次開會

開會の辞／出席者紹介／祝辞／開催代表者挨拶／本舗代表者挨拶／問屋代表者挨拶／問屋代表者挨拶／地元代表者挨拶／来賓挨拶／祝辞／祝電披露／来賓挨拶／祝辞／祝電披露／来賓挨拶／祝辞／祝電披露

大會出席者芳名

（順不同）

九月五日まで出席通知到着分

東京出席本舗問屋

東京化粧品組合 松本 昇氏
パピリオ本舗 伊東 榮氏
同 東京商工会議所 山口 定藏氏
イヴウマ本舗 専務 三輪 善雄氏
同 常務 衣笠 静夫氏
マスター本舗 阪本 一郎氏
同 宮脇 峯美氏
レート本舗 社長 板倉安兵衛氏
ライオン歯磨株式会社 栗原與四郎氏
メメント本舗 山本十章松氏
モンコロ歯磨社 笛木 大郎氏
ウテナ本舗 取締役 小川 正雄氏
ユニー本舗 社長 岡田 嘉一氏
同 専務 向山 嘉一氏
クラブ化粧品 本舗 石橋英之助氏
同 大阪出張所 須田 三郎氏
ラモナ一本舗 店主 西村 利勝氏
ハウビー本舗 社長 石田 佐一氏
スイング本舗 社長 服部 俊次氏
ホーピー本舗 専務 伊藤 金秋氏
ナシコ化粧品 社長 二谷 彰亮氏
エリア東京販売 社長 坂田 一雄氏
同 常務 赤柄 忠志氏
ヒヤ本舗 社長 宝井 益三氏
フレッタル本舗 社長 河田 清貞氏
フラワー社 顧問 渡邊 勇氏
オーケー化粧品 社長 北瀬 武氏
パトナー本舗 東京出張所 山本 忠夫氏
ミヨー本舗 社長 東野 芳一氏
同 常務取締役 石川 貞司氏
スパ本舗 専務取締役 大島 健一氏
ヒメ美容本舗 社長 中村 熊彦氏
チエスター本舗 社長 伊藤 恒吉氏
同 専務 山梨 譲次氏
金鶴ポマード 店主 小幕 忠仁氏
月美ハンカチ 社長 水谷 友吉氏
オシドリ本舗 社長 松原 定義氏
イヤス本舗 社長 井上太兵衛氏
ロリリン本舗 香川 太郎氏
八重櫻本舗 社長 可島 壽一氏
千代田本舗 社長 伊藤惠千郎氏
佐藤德次郎氏

東京出席本舗問屋

ノヤ本舗 社長 矢野 武治氏
カッピー本舗製造元 田端 哲郎氏
エーワン本舗社長 中野 繁氏
ポピナ本舗社長 中村 士郎氏
アメリア本舗 二名出席
クギヤポード 長 井橋 吉藏氏
アフリカ社 専務理事 林 辰藏氏
同 専務理事 山本恒三郎氏
日活化粧品株式会社 大平 勝敏氏
勢美義明商店 鈴木 義明氏
鶴田商會 社長 中澤鶴二郎氏
鶴田商會 社長 大屋 正一氏
佐々木商店 佐々木幸太郎氏
丸元株式會社 平澤 健兒氏
同 常務 太堂 賢治氏

關西出席本舗

ピカソ本舗 顧問 八木當三郎氏

東北地區出席店

新發田市
本間商会 本間 高次氏

新潟市
小島商店 小島 一郎氏
川崎商會 川崎 喜三郎氏
山崎清一郎商店 山崎清一郎氏

長岡市
長岡クラブ化粧品 高橋巳智男氏
今井百貨店 今井 誠一氏

郡山市
川浦化粧品商店 川浦 慎吉氏

高田市
百萬円化粧品店 石川 貞一氏
勝原株式會社 石川 貞一氏
勝原株式會社 橋本 重信氏
鶴島本店 須田 勇氏
株式會社 須田 勇氏
東北商店 木下 長吉氏
株式會社 木下 博之氏
森山耕三久氏

會津若松市
木村商店 木村 晴吉氏
芳賀商店 芳賀 新吉氏

仙台市
櫻商店 八木 信男氏
佐藤商店 佐藤 光平氏

新發田市
本間 高次氏

新潟市
大山 社平氏
小島喜三郎氏
川崎 三郎氏
山添清一郎氏

長岡市
高橋巳智男氏
今井 誠一氏

郡山市
鈴木 智雄氏
菊地三四郎氏
橋本 重信氏
須田 勇氏
木下 長吉氏
木下 博之氏
森山耕三久氏

會津若松市
木村 晴吉氏
芳賀 新吉氏

仙台市
八木 信男氏
佐藤 光平氏
山崎 正吾氏
門脇 榮夫氏
星山 經男氏
山田 清氏
由佐 精造氏
大須賀三郎氏
三崎 金治氏
馬淵 進氏
飯田 信七氏
野々川 章氏
小林 山吉氏
中川 孝吉氏
鈴木 繁城氏
眞木 孝一氏
中村 健次氏
早坂 清二氏
青沼 正一氏
平山一治郎氏
淺利 輝男氏
佐藤 萬治氏
福田 賢次氏
須田 益夫氏
菊田貞一郎氏
根本一日國氏
佐藤 芳夫氏
高橋 莊三氏
西田 恒一氏
花田 信平氏
熊谷 秀雄氏
高橋幸四郎氏
樋口 嚴吉氏
寺島元太郎氏
井物太郎氏
好一氏
中田太郎氏
浦 萬吉氏
鷲尾龜矩雄氏
武藤米太郎氏

富本商會 門脇商店
株式會社 ボーラ
山田商店
大須賀三郎商店
櫻商店
飯田商店
野々川原商店
宮城クラブ化粧品
石本商店
中川商店
鈴木商店
中川商店
小林商店
大須賀三郎商店
馬淵商店
飯田商店
野々川原商店
中川商店
鈴木商店
眞木商店
中村商店
村上商店
株式會社 ウテナ商會
株式會社 ウテナ商會

古川町
里中商店
青沼商店
鹽釜市
株式會社 鹽釜商會
一關市
平田商店
後藤化粧品店
佐藤商店
石巻市
平山商店
淺利商店
佐藤商店

盛岡市
株式會社 盛岡商會
花巻町
株式會社 花巻商會
佐藤 芳夫氏
高橋 莊三氏
青森市
西田商店
花田 信平氏
熊谷 秀雄氏
高橋幸四郎氏
樋口商店
寺島商店
八戸市
下田商店
三和商事株式會社
工藤 好一氏
多田市太郎氏
三浦 萬吉氏
弘前市
天春堂
山形市
工藤米太郎氏
多田市太郎氏
三浦 萬吉氏

秋田市
櫻屋本店商會
能代市
菊地商店
大館市
株式會社 大館商會
横手市
株式會社 横手商會
秋田市
本舗の宮から対抗競争を計画して見た。處が小貴は七七三円、対抗は七七七円かっている。地方の小貴は僅かの差で勝ったが、小貴は分の左側にある。小貴は小貴の差を出のなければ対抗の可能にはなりまい。

こうして無理の代金の回収を強行出産品が深過して来る。正規取賣を維持しようとすると出ない対抗を結ばなければ、商品に対抗されないようになる。

秋田市
能代市
大館市
横手市
秋田市
鶴岡市
酒田市
新潟市
長岡市
高田市
一關市
石巻市
盛岡市
花巻町
青森市
八戸市
弘前市
山形市

回収急げば値引き
痛し洋しのサイドと濫賣

北村氏 本舗の宮から対抗競争を計画して見た。處が小貴は七七三円、対抗は七七七円かっている。地方の小貴は僅かの差で勝ったが、小貴は分の左側にある。小貴は小貴の差を出のなければ対抗の可能にはなりまい。

こうして無理の代金の回収を強行出産品が深過して来る。正規取賣を維持しようとすると出ない対抗を結ばなければ、商品に対抗されないようになる。

戸倉氏 本舗は対抗競争を計画して見た。處が小貴は七七三円、対抗は七七七円かっている。地方の小貴は僅かの差で勝ったが、小貴は分の左側にある。小貴は小貴の差を出のなければ対抗の可能にはなりまい。

こうして無理の代金の回収を強行出産品が深過して来る。正規取賣を維持しようとすると出ない対抗を結ばなければ、商品に対抗されないようになる。

北村氏 サイドをつけることによってもう賣買が間れるのではないか

戸倉氏 小貴店としては多少は高くとも水の値かられるが、寧ろ、物品総を本舗の対抗を計画して見た。

北村氏 サイドをつけることによってもう賣買が間れるのではないか

戸倉氏 小貴店としては多少は高くとも水の値かられるが、寧ろ、物品総を本舗の対抗を計画して見た。

北村氏 サイドをつけることによってもう賣買が間れるのではないか

戸倉氏 小貴店としては多少は高くとも水の値かられるが、寧ろ、物品総を本舗の対抗を計画して見た。

北村氏 サイドをつけることによってもう賣買が間れるのではないか

戸倉氏 それからメーカーに再に運賃運賃いたいと思ります。

北村氏 それから大メーカーに再に運賃運賃いたいと思ります。

奥羽山脈の西側

米沢から弘前まで　[一]

駅舎は東京駅等を模倣されたのは五年ぶりである。本紙の調査によれば、昭和八年の東北地方の販売網は、昭和七年の後、東京に本部を置く資本家の手、昭和七年の後、東京に本部を置く資本家の手、昭和七年の後、東京に本部を置く資本家の手

昭和廿一年一月廿一日 第三種郵便物認可
昭和廿四年九月十日

東北葉界の新地図

豊富に可稼き北東部地帯を鳴らす。今回は特等賞を青森市の愛子さんが獲ぎ、一等本場の紙りとした。ここでお話がしたいことは他の既報とは大分違っているのである。それは、今年の夏、東北地方に大雨が降り、各地方の鉄道が不通となり、東北地方の物資の輸送が全く不通となり、各地方の物資の輸送が全く不通となり、東北地方の物資の輸送が全く不通となり、東北地方の物資の輸送が全く不通となり、東北

販賣界を批判する【1】

問屋対談

金融難の問題はかねがねいろいろ問題になるが、問題の問題はかなりこの問題に関係するものと思はれる。そこで問題の問題はかなりこの問題に関係するものと思はれる。そこで問題の問題はかなりこの問題に関係するものと思はれる。そこで問題の問題はかなりこの問題に関係するものと思はれる。

問屋業界の問題はかなりこの問題に関係するものと思はれる。

問屋業界の問題はかなりこの問題に関係するものと思はれる。

問屋業界

キテイ災禍

東京の被害

去月三十二日夕刻から二日に亡けて関東、東海、北陸、東北、北海道地方にわたって襲来した大キテイ災禍は、東京都では江東、墨田の両区が最大被害を蒙ったのであるが、東京都では江東区、墨田の出水は著しいものであるが、東京都では江東区、墨田の出水は著しいものであるが、東京都では江東区、墨田の出水は著しいものであるが、以下三日夜までに入手出来た業界関係の被害のあらまし

江東区

ほたん園製洗粉本舗（江東区亀戸天神社前）は床上浸水二尺余の出水により機械類は全滅の状態

ミツワ工場 出水なく、製品の二分の一を出荷しており、倉庫内の被害は三分の二を出荷しており、倉庫内の被害は三分の二を出荷しており、倉庫内の被害は三分の二

秋の景氣はリボンから

メーカー筋生産不足に大童

農林省の調べによると、リボンの生産は、昨年の秋から、ぐんぐんと伸びて来ました。ことしの春頃は、ずいぶん、ひどい状態でしたが、ようやく、ことしの春頃から、ぼつぼつ、生産が、ふえて来ました。ことしの春頃は、ずいぶん、ひどい状態でしたが、ようやく、ことしの春頃から、ぼつぼつ、生産が、ふえて来ました。

昭和廿一年一月廿一日
第3種郵便物認可

ニュールックは斯くて生れる

今年の裝身具の流行を創る座談会画報

東京小間物化粧品商報改題
日本粧業
週刊・一等土曜日　發行
第百八十一號
發行所　東京都千代田区　日本粧業會
東京中央區日本橋馬喰町3-3
電話茅場町(66)6941-3
定價一部分（三百圓）
振替口座　東京六七七七
編集印刷責任者　日南田東區
日本電報通信社　印刷紙部印刷

新しき時代の服飾結髪にマッチする近代味豊かな裝身具がいまも要望されているものの一つであろう。東京業界では過早くこの機運をとらえ、歐米の流行を摂取して、それに日本的なよさを生かすべく先に東京裝身具研究會なる研究機關が生れた譯であつた。そのスタートを飾る行事として去月二十七日上野精養軒においてスター、歌劇生、デザイナー、美容師等時代の最尖端をゆく各界の有名人を招いてここに劃期的な大座談會が開かれたことは既に本紙前號において紹介ずみである。

流行に敏感な業界人の感覚は必らずやこの座談會において多くのサゼクションを吸みとり、次ぎ々とニュールックを秋の服飾品に盛り出されることは期して待つべきものがあろう。戰後洋裝の急速な普及化とともに一般女性の憧れはわれわれの想像以上のものがある、これは美しき本能への女性の燃的な表現そのものに外ならない、この座談會を通じて戰後の裝身具界に革命的一エポックが劃されるとすればそれはわが國服飾品界にとつては大きな喜びとしなければならない。

寫眞說明

①厚子にも衣食というのはアリャ嘘です、矢張り美しき女性にこそロザリーも生きイヤリングも輝きます、裝身具界のベテランがモノしたニュールックを手にした彼女の②會場でサインする御舞館子さん〔左〕と川路龍子さんの御二人

〔寫眞說明〕

③今年の秋の流行はここにお集まりの皆さん方のお化粧なり、そのお髪、そして身につけておられる服飾品そのものから創られると云えましう……と挨拶する本社日南田主幹の名司會振り　④ニュールックを生むかの二十の瞳が、寫眞向つて右から見られちゃマない、寫眞向こう眞向こう見られちゃマないます、寫眞向つて右から令嬢阪田裕子、美容師マヤ・片岡、松竹歌劇監督伊丹貞子、SKL小月冴子、川路龍子、松竹スター朝雾鏡子、柳橋、町の家蝶子、キャバレーフロリダミスカーニバル第一位荒川五月、美容師芝山みよか、デザイナー桑澤幸子、

再びトツプを切つた
ピアスクリーム

品質で有名なピアス會社は
1949年秋一大センセーシヨナルなクリームを發表，再び日本クリーム界のリードを奪つた！

PIAS

ベルモードBel-mode)
フランス語で美の流行の意味

ハンランする百圓級

のクリームのどの一つにも満足されない美しい御婦人のためにこれ程的確なクリームは他にありません。

化粧美術の計畫生産に成功！

★今那倒的な粉白粉ピアスヴィーナスとの併用品として粉のノリ、匂いの調和が最初から計画されている！

★現代女性の憧れの的海の彼岸の感覚的なモードのパッケイジに採用、鮮やかな服裝とお化粧の一致を表はしている！

此の意味で

★ベルモードはアメリカNO1のクリームPOND'Sに範をとり、HOMOGENIEDすることに依つて、ラノリン、蜂蜜、ホルモン等榮養を直接ヒフ直皮膚に與えることに成功したヒフの根本的美化作用

オイリーコロンは…
クリームや乳液のよさをとり入れたこれからの化粧液

オイリーコロンは…
強い清浄作用！植物油の榮養を與へる

オイリーコロンは…
よく白粉がつきます！匂ひは香水香料です！

オイリーコロンは…
ベタつかないから氣持ちよく使へます！アレ性に最適

Oily HECHIMA COLOGNE オイリーヘチマコロン

オイリー
ヘチマコロン
純植物性油を溶合した高級化粧液

さらつとさわやか
マスター
バニシングクリームA!!

新發賣（新裝赤函入り）は、むかし通りのさらつとさわやかな味のクリームです
せひ一度クリームBとくらべて下さい
小壺定價六一五〇圓
小壺定價八〇〇圓

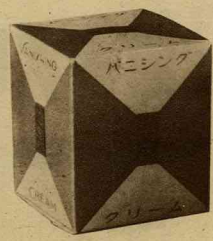
クリームのBは
今御好評を頂いてゐる色白な若肌を生むセタノール入りクリームです
小壺定價　一〇〇圓

アメリカ式の新マスターコールドクリーム　¥ 130.00
東京　株式會社　東京　尙美堂

皮膚のアレをとりもどす秋の訪れです！
ほんものばかりの原料で造つたこの名品でお肌の美を再建しましよう……

美白生成・透明美養劑
シヤベトニック
東京　奈良　大阪　株式會社　生化工業研究所

メヌマ
バニシングクリーム
メヌマ技術陣の凱歌!!
よくよかな香りと完全な殺菌力は需要者の滿足するところです



戰前以上の水準品
良品廉價

株式會社
メヌマ
電話九段(33)6153 6810 3021

財團の新理事決定

十二日、役員會で滿場一致推薦

松本昇氏就任

財團法人日本絃業會理事長は今春一月、前理事長三輪善兵衛氏辭任されて以來空席のまま今日に至り、その間、桑原、伊東、天野三副理事長が代行されて來たが、去る十二日の定例理事會に於て、三副理事長の推薦によつて後任理事長として、松本昇氏を推すや、滿場拍手を以て迎へ松本氏これを受諾して、ここに久しく空席となつていた財團理事長として責任堂社長松本昇氏が就任した

理事長決定に至るまで

前理事長三輪善兵衛氏が本年一月一日付を以て退任されてから、三副理事長は爾來、在任各員の意見を聴取する一方、小商物の各團体の意向を打診し、各種の問題を打開して後任理事長の銓衡に苦心されていたが、愈愈の問題、即ち、小商物の各團体の意向を打診して、各方面の意向を聴取する為、三副理事長は、理事長の後任選挙に於て、伊東、桑原、天野三副理事長の中、伊東、桑原、天野

東北七縣業界大會

參會者二百名

空前の業界大會開く

財團法人日本粧業會主催「東北七縣業界大會」はいよ〳〵來る廿日、廿一日の兩日に亘つて青葉城下仙台市に於て開かれます

この大會に既に參加の方々は地元近縣は申まずでもなく、青森、弘前、新潟、高田の遠隔地からも全東北の有力問屋は擧つて出席を約され、遠く北海道業界からも代表を送り、これに應ずるように東京よりは有力本舗問屋首腦部大擧出席し、關西業界からも有力本舗首腦部馳せ參じて、今次大會は實に空前の盛會を見ることとなりました

現下經濟界の沈滯期に當つて製販堅實なる業界の下に今後の無局を打破せんとする業界の意氣は實に軽視たるものがあります

主催者たる財團は全業界のこの絶大なる期待に應へて、業界の新しき發展へのエポックとすべく萬全の準備を整へつつあり、必らずや全業界の期待に應へ得ることを信じて疑ひません、この上とも全業界の御支援を願つてやみません

日時　第一日　九月二十日　午前九時開場
　　第二日　九月二十一日　午前九時開場

場所　仙台市東二番町　**ブラザー軒**

大會次第

午前九時開場　第一部開會準備　第二部開會挨拶　第三部開會式　第四部祭典挨拶　第五部來賓挨拶　第六部來賓挨拶　第七部來賓挨拶　第八部來賓挨拶　第九部來賓挨拶　第十部來賓挨拶　第十一部來賓挨拶　第十二部來賓挨拶　第十三部來賓挨拶　第十四部來賓挨拶　第十五部來賓挨拶　第十六部來賓挨拶　第十七部來賓挨拶　第十八部來賓挨拶　第十九部來賓挨拶　第二十部來賓挨拶　第二十一部來賓挨拶　第二十二部來賓挨拶　第二十三部來賓挨拶　第二十四部來賓挨拶　第二十五部來賓挨拶　第二十六部來賓挨拶　第二十七部來賓挨拶　第二十八部來賓挨拶　第二十九部來賓挨拶　第三十部來賓挨拶

午後一時　第一部開會準備　第二部開會挨拶　第三部開會式　第四部祭典挨拶　第五部來賓挨拶　第六部來賓挨拶　第七部來賓挨拶　第八部來賓挨拶　第九部來賓挨拶　第十部來賓挨拶　第十一部來賓挨拶　第十二部來賓挨拶　第十三部來賓挨拶　第十四部來賓挨拶　第十五部來賓挨拶　第十六部來賓挨拶　第十七部來賓挨拶　第十八部來賓挨拶　第十九部來賓挨拶　第二十部來賓挨拶　第二十一部來賓挨拶　第二十二部來賓挨拶　第二十三部來賓挨拶　第二十四部來賓挨拶　第二十五部來賓挨拶　第二十六部來賓挨拶　第二十七部來賓挨拶　第二十八部來賓挨拶　第二十九部來賓挨拶　第三十部來賓挨拶

午後六時　懇親會開會　第二日　午後一時　懇親會開會

主催　財團法人　**日本粧業會**

東北大會出席者芳名

（順不同）

東京出席本舗問屋

資生堂　社長　松本　昇氏
パピリオ　社長　伊東　榮氏
同　常務取締役　三輪　善雄氏
ミツヤ本舗問屋主　青野　隆一郎氏
同　マスター　駒本　一郎氏
同　同　鶴岡　義氏
レート本舗　社長　板倉安兵衛氏
ライオン歯磨株式會社　栗原貴四郎氏
モンコー歯磨株式會社　野田　義也氏
メス本舗　常務取締役　大石　一郎氏
クラブ本舗　常務取締役　中山　進一氏
クラブ化粧品株式會社　西島　文夫氏
ウテナ本舗　常務取締役　小川　正雄氏
ウテナ本舗　常務取締役　金原　善一郎氏
オペラ本舗　社長　中村　重雄氏
ユニー本舗　社長　岡田　光雄氏
同　取締役　岡田　嘉一郎氏
クラブアテン本舗　社長　石橋英之助氏
千代スミレ本舗　社長　須田　利勝氏
同　取締役　須田　三郎氏
ハウビー本舗問屋　石田　佐一氏
ラモナー本舗問屋　服部　俊次氏
ヤンセンヒゲ本舗　伊藤　堂
ヒゲ化粧品株式會社　二谷　彰亮氏
トリナ本舗　社長　坂田　一雄氏
リビエラ本舗　社長　勝村助三郎氏
同　常務取締役　新潟　義一氏
エリー本舗　常務取締役　赤柄　忠志氏
フレックル本舗　社長　室井　益三氏
フレックル本舗　常務取締役　河田　清貞氏
本舗問屋本舗　店主　石田　一郎氏
オーケー歯磨株式會社　北瀬　武氏
パドナー本舗　社長　山本　忠夫氏
キスミー本舗問屋　澤田鑑之助氏
東京油脂株式會社　酒井　俊雄氏
リーガル株式會社　石井　智氏
みつは本舗主　深井　穎吉氏
ビオネオ本舗　社長　中村　芳一氏
スベル株式會社　大島　健一氏
ライオン歯磨株式會社　中村　熊彦氏
ライオン歯磨株式會社　安田　謙次氏
スベンシ本舗　社長　山梨
マスター本舗　常務取締役
ライオン歯磨株式會社

關西出席本舗

クラブ本舗　取締役　酒井　武雄氏
ピンス本舗　社長　政弘氏
ピンス本舗　取締役　坪井　幸雄氏
ピカット本舗　社長　八木常三郎氏

東北地區出席店

（新潟市）
新發田市　本町　高次氏
本町　大山　莊平氏
大山商店
小黒商店
小黒喜三郎氏
小黒喜三郎氏
新潟市
新潟市　大山　莊平氏
小黒喜三郎氏
川崎　三郎氏
川崎　益夫氏
菊田貞一郎氏
荻原　文平氏

大川　正一氏
一名出席

長岡市　高橋巳智男氏
長岡ラジオ商組合
今井　誠市氏
大力川雅俊氏

高田市　青山　德信氏
青山商店

郡山市　鈴木　智雄氏
鈴木商店
鈴木商店
須田　勇氏
須田商店
木下　長吉氏
木下　博之氏
森山紳三八氏
森山紳三八氏
遊佐忠之助氏
遊佐忠之助氏

福島市　橋本　重信氏
橋本商店
橋本商店
橋本商店
須田　勇氏
須田商店
木下　長吉氏
木下　博之氏
森山紳三八氏
森山紳三八氏
遊佐忠之助氏
遊佐忠之助氏

仙台市　八木　信男氏
八木商店
光平氏
光平氏
山崎　正吾氏
山崎　正吾氏
門脇　榮夫氏
門脇　榮夫氏
山田　清氏
山田　經男氏
田佐　精造氏
田佐　精造氏
大沢貢三郎氏
大沢貢三郎氏
三崎　金治氏
三崎　金治氏
馬淵　進氏
馬淵　進氏
馬淵　信七郎氏
馬淵　信七郎氏
野々川　章氏
野々川　章氏
小林　山吉氏
小林　山吉氏
中山　孝吉氏
中山　孝吉氏
繁榮商店
繁榮商店
石井商店
石井商店
仙台市
篠澤　清氏
篠澤　清氏
篠澤商店
篠澤商店
村山安之助氏
村山安之助氏
村村　健次氏
村村　健次氏
株式會社東北
株式會社東北
株式會社東北

昭和廿一年一月廿一日 第三種郵便物認可

濫売は何を齎らすか

☆空理空論でなく足元を見よ☆

今年初頭に早くも濫賣不可避論がきかれたが、愈〻現實の姿を見る時、その前面に現われてきたのは「無濫賣」の問題である。何故に濫賣は何の為に行なわれるかを考へて見ると、そこに濫賣の原因はどこにあるか、そして濫賣の防止は果してできるか、そして濫賣の防止に関しては、業界各層はもとより業界紙にも眞剣に採上げられてきた、ところで今回は過去の濫賣と現在の濫賣と現在の濫賣の共通な相違とさらに今日課せられている国民税の義務たる納税の遂行がこの濫賣によって果して約束出来るか、然して濫賣によって経営の維持が保證し得られるか否かの點に亦つて聊か檢討を加えてみよう

眞の自由経済はまだ先き

大量生産する程資材は潤澤でない

まず第一に考えなければならないことは、各産業が大量生産をしようとしてもまだ資材と程度とでは生産費が大量生産をしようとしてもコストの低下は期待出来ないのである。大きなことは物価問題となり、さらに未曾有の物価の現状としてつまり、大量生産を行なうことになり小売価格の問題が行なわれるのである。そこで、そのような問題が現出されるのである。そこで

東北業界の新地図

私の商機のニュースは八月、青森県市の県庁別商店の新不用市別を市内にされているはこの所に注目前のあるが、地方的小都市商店は種下に驚く程にしている。今回は昭和の際にて右の方面は商品受さるる時なかったことは後悔するあった時はなく、また損失に関係してこの事業を年末の為に、ある意味でいるのであって、本回には訪問様の方面に参加なかったので、本回には訪問様の方面に参加なかったので、本回には訪問様の方面に参加なかったので

秋の東京見本市特輯

優良化粧品雑貨卸
畑宗一商店
東京浅草駅前市場二十五
電話浅草(8)五〇六番
TRADE MARK

不況時こそ良品を
繁昌の源・東京見本市
秋の上野に十月四・五兩日開く

ここに五度、業界好轉の機を捉えて開かれる財團法人日本粧業會主催、東京小間物類商工業協同組合共催、秋の東京見本市は米る十月四、五の兩日秋澄く深まらうとする上野に、精養軒を會場として、華麗な繪卷を繰り展げる

東京見本市は一昨々年の秋開催以來、他の見本市が衰微を見たるにも不拘いよ／＼盛況の高めて隆盛に向い、異例の發展をとげ、いまや見本市の最高峯として、この見本市の人氣を集めることに恒例化されるに至ったことは、この見本市の眞價を物語るものと云へよう今回の出品店は四十一店、東京における小間物、化粧品、袋物、和裝細工、運動具などの有力店を網羅し、多彩な新製品をひっさげて東京業界の精粹をここに展示、自信をもって その眞價を廣く全國販賣界に問はんとするものである、刻々に變轉する中央業界の動向を認識し、流行の趨勢を知り、値段の變動をきわめる上からも、また出品店を比較檢討する點からみても、東京見本市はまたとない惠まれた好機會である、いまや業界は好轉の一路を辿ってゆく秋、邁驀なる來って、繁榮への扉を開かんとするを歓めたい、東京見本市は貴方今後の御仕入れに絶好の指針を提供することとなるであろう

業界ダイヂェスト
特色ある專門的見本市

經濟界の不況の上に、昨年の好轉の有力な原因となったと云はれる、輸出産業の復興は、ますます旺盛を加へ、東京見本市の出現の出現の機運は、ますます高まるの時期に迫って、後々の繁榮に至つたこの出品のことは、今、なほ、記憶に新しい。

東京見本市の出品は、ますます、多彩に、多種多様の出品に、ますます、多彩に、多種多様の出品に、ますます、多彩に、多種多様の出品に

商品の動き 市況と見通し

見本市えの出品は小間物、化粧品、袋物和装細貨に亘り期待大。ただ流行段の変動もまた目ぐるしいものが少くない、これらの商況を適格に把握することは刻々微妙に変動する最近において特に至難なことで、今日の市況、明日の相場を保し維しものがある。見本市の如き好機會をとらえ、自らの目によって自らの手によってタッチすることが必要であるが、ここにその総括的な概況を展望してみよう

小間物

値段まづ落つゝ、仕入も一安心

小間物について、各種綿ねば氣味になってからの値段の動きを見ると、値段は一般的に落つゝ、高くなく安くない質量的な値段で、品質は非常に良かったが、値段は高くなく安くない質量的な値段で、品質は非常に良かったが、値段は高くなく安くない質量的な値段で、品質は非常に良かったが、値段は

見本市出品店紹介

狂いなき磁針は恒に南北を指し示しているが、これは地球儀の方則によるが、繁昌する店にはまた繁栄の方則が存在するに相違ない、まづ仕入れのよき東業界における一流の問屋であり、カーの商品、これらの出品店、仕入れることが、すでに繁栄をもたらす一因であるとも言える、その出品店の様相を把握することによりよき仕入への道しるべともなろうか、いまこれら東京見本市参加店のアウトラインを描いてみよう

小間物の部

麟つた存在

株式会社 伊藤政吉商店
銀座西八丁目

独特の味

東洋産業商會
銀座西八丁目

特色ある木製品

株式會社 岡安克之商店
銀座西八丁目

セルに確信

合資會社 風間幸平商店
銀座西八丁目

特別サービス

合資會社 吉澤商店
銀座西八丁目

新パール出現

東京小間物販賣所
銀座西八丁目

楽しめる商品

畑宗一商店
銀座西八丁目

喜ばれる商品

東京萬伸社
銀座西八丁目

髮飾に重點

合資會社 吉村商店
銀座西八丁目

廉價販賣を

株式會社 塚田商店
銀座西八丁目

注目を惹く

小町屋本店
銀座西八丁目

氣つぷの店

大橋數一商店
銀座西八丁目

銀座向製品

中西紫郎商店
銀座西八丁目

研究の成果

株式會社 小松原商會
銀座西八丁目

異數の發展

有限會社 タカラ商會
銀座西八丁目

マークの誇り

合資會社 藤本商店
銀座西八丁目

釦なら何でも

株式會社 米鐘商店
銀座西八丁目

野心作出品

桑村伸夫商店
銀座西八丁目

ブラシ專門

合資會社 深京治郎商店
銀座西八丁目

良き相談相手

阿部鈕商店
銀座西八丁目

時宜を得る

キリンヤ、シヤツ株式會社
銀座西八丁目

初めて參加

吉利商店
銀座西八丁目

昇天の勢

末廣商店
銀座西八丁目

先ず見本市を

株式會社 水野
銀座西八丁目

一貫した製品

株式會社 鈴鳳
銀座西八丁目

趣味的製品

株式會社 美行社
銀座西八丁目

デザインの新しさ

木村金三商店
銀座西八丁目

粹な和装品

三浦政次郎商店
銀座西八丁目

(次頁へ續き)

スタンダード印ボタン製造元
505° 印 スナップ總代理店
500° 印 スナップ卸特約店
ボタン・リボン・レース・チープ卸商
SDD MADE MARK
株式會社 米鐘商店
東京都千代田区東京駅日一番地
電話茅場町(66)6530
振替口座 東京15万
(相場表進呈)
"カンダヨネ"ヤウ

高級袋物 ハンドバック 卸商
弗札 入入
株式會社 新井
出張所 東京都中央区日本橋横山町十番地
電話 茅場町(66)六〇一〇
取引銀行 日本興業銀行横山町支店
東京都台東区浅草橋横山町四番地
電話 浅草(84)〇七四七番

小間物雑貨問屋として新鮮優秀な商品を御揃の御期待に應ふ、様良心的な御取引を以て出品致し度す何卒御様の御相談相手として何なりとタカラ商會を御利用下さい
有限会社 タカラ商會
東京都中央區日本橋横山町四一番地
電話茅場町(66)7421番
取引銀行 千代田銀行横山町支店

小間物化粧品雑貨 各種ゴムロイド加工品 問屋
株式会社 風間幸平商店
中央区日本橋横山町四一(大通)
電話茅場町(66)六八一〇番
(各種袋物・鞄・時計・眼鏡・帽子・靴下)

十月四日・五日上野精養軒の見本市には皆様の前同に倍する御引立を伏して御願ひ申上げます

高級髮飾品 工藝裝身具
木村金三商店
中央区日本橋横山町二十自二六番地
電話茅場町(66)七二五五番

タイガー印 セルカラー
末廣
中央區日本橋横山町八番地五
シーズンが到来致しました 早速御用意を

KIRINYA SHIRT CO., LTD TOKYO
TRADE MARK
キリン印のワイシヤツとネクタイ
洋品雑貨製造卸
キリンヤシヤツ株式会社
東京都中央區日本橋馬喰町一ノ四
電話茅場町(66)7072・7422番
電報番号 東京6699番
TOKYO KIRINYA SHIRT CO. LTD
NECTIE COLLAR CUFFS BUTTON AND BAG
GOOD DURABLE GRAY ARMS WEARING OUTER SEROSERSES

新製品紹介

創れ新製品—拓け販路

新製品は開発すべき種はたくさんある。不況の今日だからこそ、これ位はよい、不良品だ、と言ってあなたは満足されるでしょうか。

新製品は開発すべき種はたくさんある。不況の今日だからこそ、これ位はよい、不良品だ、と言ってあなたは満足されるでしょうか。

新製品によって販路を開拓する時代です。商品によって販路が開けないからです。新製品によって販路が開拓される時代です。商品によって販路が開けないからです。新製品が開かれ業界の発展が期待されるのです。

新製品（の発明）は無尽蔵です。いろいろ、良い品種は、この産業からいろいろ、良い品種は、この産業からいろいろ、良い品種は、この産業からい

和装の秋を謳歌　空前の賑い

戦後初の展示會　歡聲湧く

東京都新橋駅前の青空市場の和装品展示会は、東京都加藤伝株式会社、熊谷組株式会社、井倉太郎商店、五鳴敏太郎商店、第一衣料株式会社、株式会社小間物商店、資倉社三宅商店、株式会社松崎商店、三浦政次郎商店、株式会社松田商店、中野屋多崎株式会社、東京青年糸好會、中野織物株式会社、野澤株式会社、有限会社岡仙商店、細紺鋪、二葉太鼓、長谷川、荒町、伊藤、藤島、ほか二つの出品者は、大東京の地元、ロンジスローマス、ヤマユニユニの四製品、ヤマユニユニの四製品、ヤ

[illegible]

奉仕會の商品市

[illegible]

業界道しるべ　たーこ

出品店名

今井商事株式會社、有限會社岡仙商店、株式會社松田商店、中野屋多崎株式會社、東京青年糸好會、中野織物株式會社、野澤株式會社、有限會社岡仙商店、細紺鋪、二葉太鼓、長谷川、荒町、伊藤、藤島、ほか二つの出品者は、大東京の地元、ロンジスローマス、ヤマユニユニの四製品、ヤマユニユニの四製品、ヤ

[illegible]

初の研究會特撰品座談會の收獲まず四點

[illegible]

やっぱり時期が解決

協賛主催　商品交換會賦はふ

東京小間物組合主催商品交換會賦はふ　寺内組七郎氏、安藤商店、日吉商店、[illegible]

[illegible]

耐乏のなかに潤いを創作に努力する装身具界

[illegible]

都内露店消える

まだ先の話、來年三月限り

[illegible]

ヒゲ剃り推進運動

うまい宣傳方法

[illegible]

來年は貴年

縁起をかつぐ

[illegible]

株式會社　横田商店
東店　パンド・ガーター・洋装雑貨
小間物・靴墨
西店　小間物・ブローチ・セル製品

株式會社　紗鳳
小間物雑貨卸
地方よりの問屋又は商社諸様の御仕入を御願ひ申上げます
小間物協組役員會
東京小間物組役員
中央区日本橋通り三丁目
東京　東海　小間物問屋
富士屋　鳴海町支店

見本市参加
有限會社
井田両国堂
台東区　浅草橋一ノ二三
電話浅草(84)六一二二番

6ヶ月使用保證付
アビス歯ブラシ
◎三十年の傳統を最高度に發揮した歯刷子界のNO・1!!
◎東京都標準品として指定された唯一の逸品!!
アビス歯刷子本舗
大阪市東淀川区南久寶寺町一丁目四六番地
山本隆一商店
(花)　(月)　(雪)
婦人用

セルロイド雑貨とスリースターの卓球
セルロイド雑貨問屋
宮崎産業株式会社

品貨用雑
髪用雑製品
本職身用
日婚装セルロイド製品
東京見本市出品参加
大橋数一商店
東京都台東区浅草新堀橋町二番地
電話浅草(84)六二六一番

見本市の舞台裏

出品者はこの意氣込み

戦後後五回目の東京見本市は春の来る頃開、五日の開所祭が挙行され、無愛想な神谷一郎氏の開所の辞に続いて、出品者代表として関口、宮原の両氏が挨拶、出品者はこぞって、宮原の「今回は今回の見本市の名を本物にならしむるに共にその大なるスケールの實はなく、見本市は戦争期間中、現在は戦争期間中の高い見地にあるもの」の言葉に、出品者は、戦争期間中の見本市の意義を、改めて、出品者は、戦争期間中の見本市の意義を、改めて、出品者は、戦争期間中の見本市の意義を、改めて

不況を乗り切る

小資店・成功した三つの実例

こうして商業力強度に鍛つてくると、小資店経営は楽な事にしてなるべきものである。この度の第二の問題は現在までたびたび、問題、販売に関係の今日、問題は経験の優良のなんせうるか、しかも活動的に商品を賣るべきか、ということと、意外高級な品物を、なんな多く。今こそ不況のりの化粧品小間物屋が、小資店自身の手でうまくやられ付けはなならないときだ。

製薬二つ事例を紹介しよう

○昨今の不況に對してあなたのお店ではどんな打開策をたてていらるか

○あなたのお店ではお客に對してどんなサービスをしているか

共同して積極策

横須賀・かをり會

横須賀にかおり會という小間つまり、本舗、問屋からは、物化粧品等の販売する者が、集まり、毎月の会合をし、横須賀、横浜の、横浜に大体、各店の賣上げ目標、結成以来、各店の賣上げ目標を、毎月、増しに上昇しつつあり、かつ、毎月の、横浜の、各、問屋の、

二カ年の成績

總額は千四百萬圓

昭和二千二年八月十五日民間貿易再開以來本年九月末日迄の第二次計算總額は次の通りである

化粧品輸出

仕向地	數量(打)
サンフランシスコ	五一〇
ホノルル	二、〇〇〇
香港	四〇
上海	八四〇
ロンドン	九三〇
紅	三、〇〇〇
紅	四、一三五

小売店 ガラス張り経営公開

中野・さのや化粧品店の八月報告

さのや化粧品のガラス張り経営開店八月分決算成績表の公開をとおして、その経営上の問題点を明らかにされた社員教育と共ゝ、この期間の経営資料の公開ぶりを作成した。

小売店のガラス張り経営の問題を公開すれば、何に活用されているであろうか。

科学的経営法の実践は、各種の小売店各位の参考になるであろう。

中野・さのや化粧品店の八月分決算成績表

品目	六月	七月	八月
物部商会	276.500	302.570	228.311
化粧品	49.000	53.620	43.155
小雑貨	24.500	26.803	35.905
洗剤	66.029	94.075	142.120
合計	—	17.608	9.444
	416.027	494.676	458.935

平均利巾による利巾分析

品目	指定	六月	七月	八月
物部商会	24%	66.560	72.616	54.834
化粧品	27.5	12.475	14.745	11.667
小雑貨	21	5.150	5.628	7.540
洗剤	13.2	6.649	6.649	18.874
合計	20	1.550	1.550	1.888
		88.619	101.190	94.805

賣上の安定化

回轉率は一・七回弱

八月の賣上高（総益目録）に推定利巾をかけたもの、即勘りの二つの指数でみると、化粧品は一・六%

利巾分析は

九四・八〇三圓

化粧品　二三・八〇三一二圓

小雑貨　四三・一五五圓

洗剤　一一・〇〇〇圓

その他　九・四四一圓

ここに六、八月の二月間とも数字でみるが、さのやの八月の賣上高（総益目録）が前年に比べ約三割ふえたのは、一方、今は洗剤の賣上が増えてきたことを物語っている。

八月分

クリーム增産期待薄

乘鼓剤不足で各本舗慌てる

今年度、クリーム業界に、ヒ素剤不足で各本舗慌てる

今年度、クリーム業界は、ヒ素剤の不足で各本舗は、ヒ素剤の不足で各本舗は、ヒ素剤の不足で各本舗

エーワン ポマード

純植物性

株式會社 エーワン本舗

ツヅミ 化粧料

ツヅミ化粧料本舗
台東區淺草橋二ノ二一 電話淺草(84)7265

都内代理店
有名化粧品問屋
大山勇次郎商店

3510

最高基準品

ミゴトポマード

純植物性

新發賣

純植物性ポマードの
最高水準を行く
ミゴトポマード
代用油を使用せぬ
純質無比の逸品
安心しておすゝめ
下さい

150圓瓶

株式會社 福田號
東京都台東區向柳原町1の11
電話淺草(84)5992

Kiss-Me

超短波科學裝置は化粧品界で日本最初です

キスミーの科學者が全力を注いで成功した香水

キスミー

特殊香水

キスミー販賣株式會社
株式會社 伊勢半
電話 九段(33) 0722・4951

キスミー口紅本舗
東京都千代田區富士見町2の10

本舗
株式會社
井筒屋商店

純植物性

花王S-タイプポマード

新發賣

普通の三分の一ですむ
ノビの良さ！

東京小間物化粧品商報改題
日本粧業
週刊 毎月二十回出刊
第四八十二號
発行所 東京中央区日本橋室町四ノ一 日本粧業會
電話日本橋(241)1131-3
振替口座東京八七七七七番
印刷所 日本電報通信社

クロバー
口紅 ほゝ紅

シャウプ勧告

物品税八割を六割に
五割三割はそのまゝ据置

日本の税制に劇期的な改革をもたらすシャウプ税制使節団の勧告書「シャウプ使節団日本税制報告書」の全文は去る十五日發表されが所税法人税の改正、富裕税の新設、資産再評価の弾力適施、取引高税、物品税の改正等直接業界に關連する税制改革、並びにその他國税地方税全般に亘つて勧告がなされたのであるが、業界が特に注視しては別項の如く

乙類（一般化粧品）の税率は八割から六割に

丙類（クリーム、ポマード香油）は五割据置

丁類（シャンプー）は三割に据置

を要望とする旨の勧告がそれ〜理由を附して行はれ、こゝに久しく業界が努力し積げて来た税率引下げ運動も一應終止符を打たれた形となつた

この結果「問題となるのは繊チュウタン、カーテン等の物品税を廃すことが勧告されるが、これらに比べ化粧品は二重課税を受けている、勧告では月刊一日に遡つ物税課税額による不足額は主税額としてはこの処理の財源の問題であるが化粧品は二重課税を受けているとの理由で、新たに化粧品に課せられるものは無いのであるから、これは化粧品業界としては大いに考えられることである

物品税勧告の内容

「シャウプ使節團日本税制報告書」は一部二部に分かれ十四章に亦ぶる大なもので、その内容はわが國税制度の改革にはじまり國税地方税全般に亘つて詳細に述べているが、化粧品税に最も重要視される物品税に關する勧告の全文を掲げれば大の通りである

第十五章 物品税

一率に五割か
一率に五割の税率案が有力化す
本年度から實施されるか

大蔵省主税局で勧の物品税課税に関する問題は、シャウプ勧告の中で、勧告案に基づき、一般に引下げ為替税率を二倍に引下げる為の対策としての砂糖税収増収、酒税の増収、関税の増収、物品税の増収、等の増税の問題によつて解決されるものと見られるが、物品税の改正案は、一率に五割の税率を適用する方向で改変がまとめられるものと見られる

この問題は、「物品税の改正案は、一率に五割の税率を適用する方向で改変がまとめられるものと見られる

この問題は、「物品税の改正案は、一率に五割の税率を適用する方向で改変がまとめられるものと見られる

惜しかった當局案
業界の要望はさかれていた

シャウプ税制調査團に對して化粧品は「単に二重課税を廃止する意味合ではなく、化粧品は二重課税を受けているとの理由で、物品税の項七割の税率であつた旧標準に対して、この勧告案は、シャウプ使節團の勧告書の中で、化粧品物品税に関する問題は、「

昭和廿一年一月廿四日第三種郵便物認可

石鹸一個の卸口錢
一圓三〇錢八毛
石鹸組合で細かい算定

石鹸一ケの卸口値はいくらかといふ興味ある計算がこの程表された。これは相當論議のあつた末、去る廿八日、東京都配給課から各卸業者に通知された。

卸業者は戦前の取扱数量を基礎として細かい算定を行ひ、卸口値は次の通りとなつた。

| | 引取運賃 | 配達〃 | 卸業員費 | 卸業員費 | 卸業員費

ちかごろ小売店の生態

問屋外交汗だく探報記

都内巡りの腕利きの問屋外交が語る、これは今日の小賣店の實態描寫です、金詰りにあるか小賣店、益々發展をたどるか小賣店の吉所はどうなつてゆくか、問屋外交が汗だくで探求した貴重な告白です。

この度は　川野辺志雄　SPC　カキイ商事　本誌　田中記者　りませう

語る人　片柳　義雄氏　茂男氏　鈴木　中山　賀市氏

問屋、小賣店の賣上高

本誌　小賣店の賣上げ例の問題は問題の問題外負点についてはどうなつてゆくか、ぜひ、ぜひ、ぜひ

シャウプ勧告 現行法との対照早わかり

シャウプ勧告案を現行税率と比べてどう違ふかと云ふ問題は日刊紙でも報じられているが、業界向の經營に直接關係あるものゝみを解り易く對照すれば次の通りである

勧告

一、所得税

(一) 基礎控除　二四、〇〇〇圓
(二) 扶養控除　二、〇〇〇圓（所得控除）
なお扶養親族の範囲を擴張し、稼ぎ高から年齢の制限を受けるとする。但し、この場合扶養親族の所得は合算されて從つて
(イ) 十九歳以下の者で就學中の者は扶養控除を受ける
(ロ) 農業を營む家族の親族が雇主の事業に從事して生活をともにしている場合は扶養控除を受ける。
(三) 勤勞控除　一〇％（最高二〇、〇〇〇圓）
(イ) 給與所得に限つては現行通り
(ロ) その他の所得に限つては、十月一日から翌十二月一日までの間に（つまり一年分（從つて年間所得の三・七五ヵ月最高九〇、〇〇〇圓）の控除を認める。
(四) 稅率
一、〇〇〇圓迄　一〇％
二、〇〇〇圓迄　一五％
五、〇〇〇圓迄　二〇％
一〇、〇〇〇圓迄　二五％
二〇、〇〇〇圓迄　三〇％
五〇、〇〇〇圓迄　四〇％
一〇〇、〇〇〇圓迄　五〇％
二〇〇、〇〇〇圓迄　五五％
三〇〇、〇〇〇圓迄　五五％

現行

一五、〇〇〇圓
一、八〇〇圓（基礎控除）
一二、〇〇〇圓（扶養控除）
一、〇〇〇圓（扶養控除）
一、〇〇〇圓（扶養控除）
一

奥羽山脈の西側

米沢から弘前まで　【一】

奥羽線に沿うて東北東日本の業界訪問＝第二報から訪れた各地殖産界の現況＝人口の多い都山形市、この二つの産業を中心に分岐して、板谷峠の急勾配を下れば置賜盆地の中心米澤市、こゝから一時間、藏王の山麓を廻ってゆこう

横尾平吉氏

米澤

米澤は上杉藩出公二十萬石で徳川氏からの下米の收納所であり、藩の財政を支えていた。

山形県の置賜盆地は、「米澤盆地」とも呼ばれる町である。

サイドバイ日は置賜盆地、人口三萬の中心として米澤の景氣もとり組み見るの通りである。

それは、云うまでもなく、「米澤」の大きい産業を中心として、明治十年の間、興めつづけられた。

しかし、「米澤」は、「織物」の産地として、「置賜地」の名で知られていた。

小売店不況乗切り論

りきるあの手この手の奥手を語る討論の内容である

ガラス張り經營は果して成り立つか

不況時に賣上げを増やすにはどうすればよいか

指導は精神的な發展

問屋機能を活用せよ

賣上補強の策御用聞き

新製品を推賞販賣

保身術で終る勿れ

資料は計畫樹立の基礎

商品を持つ獨得の魅力

ウインドの魅力を發揮

小売店來の性質

小賣店本來の性質

業界人往來

髮に一番 クリームオイル 香油の一番 大阪 出中頭商店

赤ちゃん用として紋章洗顔シャボン 大した評判です……

紋章 洗顔 松景鹸 クリーム

アドアー ケシクリーム 品質自慢 香料自慢 売行自慢 佐々木商店 KERSHY CREAM

日本化粧品界のプリンス 久邇化粧料 名古屋 久邇鹸

エリナ 純植物性 ポマード 新製品 本部 株式会社

クラアデン ポマード 愛用者は誰 白京区下谷四町58

經營時評 四

科學的經營の意義

數字は何故必要か

倉本長治

我々は、この時多が勝つと雷等を完全にやつてのけたといわれる。

「まるやこ」は、この第一段階で、「數字」の意味を知ることによつて、「まるやこ」の比較にたつて意味がないと、賣上と、「まるやこ」の比較にたつて、三回を終えた。

ところで、この數字が、夫々、何故、「まるやこ」の意味を示すのであるか、それは、「まるやこ」の「商圏」されるのではないといわねばならぬ。

やこの數字は、非常な苦労の結果であるが、それは、「まるやこ」の「商圏」の全貌が判つて、その賣上高に對する「比率」を求めておくと

ポマード太平記

数多く化粧品のうち強く強く頭髪用化粧品とくるもの、ポマードは最も古い歴史を持つ。これ頭髪用化粧品の中、ポマードの歴史ほど古いものはない。従つてポマードの資料等の知識がとても良く伴び現代に大変参考である。

勢力は昭和三四年頃から、ポマードは、

何月が一番賣れるか

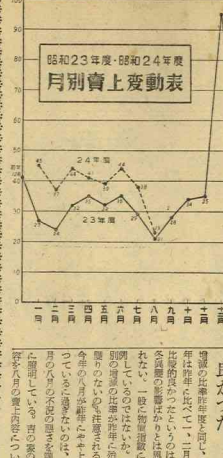
小賣店の賣上研究

資料提供 龜之助氏・新橋吉之家吉野

小賣店の賣上を調べて見ますと、何月が一番賣れるか、その他どの位の位の賣上があるか、その中の様子を、公開されたことは、今迄ほとんどなかったのであります。今回の調査は、最も多くの賣上げ高を示す月、最も少ない月、その他の月の賣上げ高を、各店の記帳に基づき、公開されたものであります。

賣上変動表

	23年度	24年度
1月	270.000円	450.000円
2月	240.000	370.000
3月	320.000	440.000
4月	350.000	410.000
5月	320.000	390.000
6月	350.000	440.000
7月	290.000	380.000
8月	210.000	230.000
9月	280.000	――
10月	340.000	――
11月	350.000	――
12月	950.000	――



最高は十二月 四何と八月の五倍

本年はまだ公式の統計が出ていないので、一応推定分の賣上をお知らせ致します。

	化粧品	雑貨	合計
一月	二二四、三一九円	一七、七四一	二四〇、〇六〇
二月	二〇、三六二	一二、七七七	三三、〇三九
三月	二七、〇六〇	八、五〇〇	三五、五六〇
四月	二三、三一七	一一、八四〇	三四、一五七
五月	二〇、三六〇	八、五〇〇	二八、八六〇
六月	二〇、三六〇	一一、八四〇	三二、二〇〇
七月	二〇、三六〇	八、五〇〇	二八、八六〇
八月	二〇、三六〇	一一、八四〇	三二、二〇〇
九月	二〇、三六〇	八、五〇〇	二八、八六〇
十月	二〇、三六〇	一一、八四〇	三二、二〇〇
十一月	二〇、三六〇	八、五〇〇	二八、八六〇
十二月	二〇、三六〇	一一、八四〇	三二、二〇〇

本年八月 賣上内容

一、二月は良かった

増税の比率が年度と同じ、今年は昨年よりも、一、二月が比較的良かったというのは、暖冬関係の影響があったと思われる。一般に物価騰貴、比較的低かったのではないか、月別のうち、比較的低かったのは、一、二月だけであり、他は、比較的高かったと思われる。

今年の八月が、前年と、ほぼ同じであるのは、今年は、八月に比べて四月、五月が、比較的高かったのは、暖かったからであると思われる。

敵は赤門内にあり

販賣第一線

おかめや拜見

本社・おかめは約四十年前創業、元巻きなどから化粧品の販売がなされ、家族で、店主、妻、娘、三人で、小賣店の経営である。店主は、戦争中、小賣商組合の組織長として、公私多忙な中に、組合員の為に、東大、赤門の、向島寮に、新聞を、毎日、配達、されて、約、三年、経過した。

花ビセイ
の新製品

花ビセイ工業株式会社
東京都台東区上野池之端二丁目二番地
電話上野(83)三四〇番

伊豆椿の開東進出

新発売では、ヤ、ア、ジンチンを、もつて、開東に、進出、致しました。

金証設立

ハツモール販賣

ハツモール化粧品株式会社
東京都中央区日本橋馬喰町二丁目
電話日本橋(66)一九二番
取引銀行 大阪銀行 住友銀行

推賞販賣に重點

価格よりは品質本位

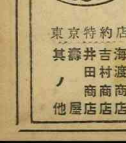
流行に敏感な小賣店

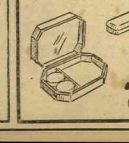
充實した群雄の割據

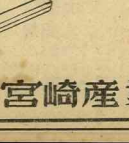
成功した販賣店訪問

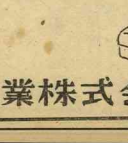
ビオネ本舗の北海道巡回終る

ビオネ本舗は、昭和二十年、北海道の、函館、旭川、帯広、釧路、の、四、市、を、巡回、して、ビオネ、の、販賣、を、行、ました、









東京見本市待たれる十月四・五日

出品店の準備いまや完了

秋の東京見本市開催はあと旬日に迫った春秋二回恒例として開かれる見本市とは名ばかりで、出品店はいづれも他人工会員ばかりであるこれまでと違って、出品店は製作につとめるというメーカーもあるので、幕開きの當日までは、出品店の力の入れ方の程度は、本には出品店の力の入れ方の程度は、本には出品店の力の入れ方の程度は、本には